

土石流発生感知装置（ワイヤーセンサー）現場見学会

～設置場所や装置の仕組みについて改めて確認していただきました～

～六甲砂防事務所～

六甲砂防管内の西宮市役所の方を対象に、土石流の発生を感知するために設置されている土石流発生感知装置（ワイヤーセンサー）※の設置状況や仕組みについて改めて確認していただきました。

※以下『ワイヤーセンサー』と記載

概要
日時：令和3年2月1日（月）14：00～15：00
場所：弓納子堰堤（西宮市生瀬高台地先）
参加機関：六甲砂防事務所・西宮市

六甲砂防事務所管内には、土石流の発生を知らせるワイヤーセンサーが17箇所設置されています。

六甲砂防事務所では、老朽化したワイヤーセンサーの更新を進めており、今年度は5箇所実施しています。

今回は、西宮市内の弓納子堰堤に設置されたワイヤーセンサーの更新にあわせ、西宮市の防災担当の方を対象に現場見学会を実施しました。

現場では、ワイヤーセンサーや警報装置の設置場所や人家までの距離などを確認頂き、防災情報の収集と警戒避難の重要性について再確認していただきました。



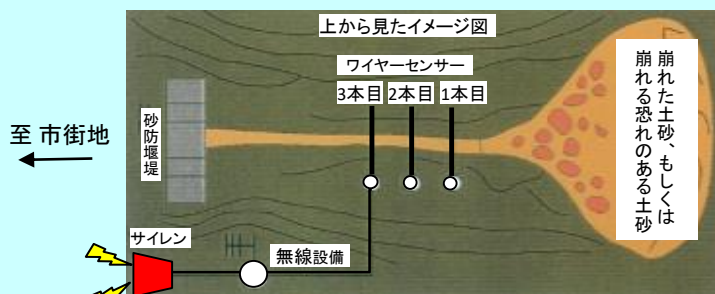
ワイヤーセンサー設置箇所と人家の状況



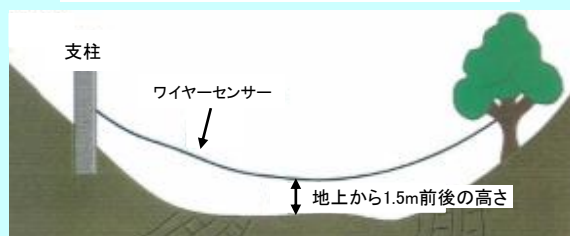
○土石流発生感知装置（ワイヤーセンサー）とは

土石流の発生によってワイヤーが切断されるとサイレンが鳴り近隣住民に土石流の発生を知らせる装置です。

土石流発生感知装置（ワイヤーセンサー）設置イメージ図



ワイヤーセンサーが設置箇所付近を正面から見たイメージ図



※イメージ図は渓流内に設置したイメージです。砂防堰堤に設置される場合（写真上）もあります。どちらも機能は同じです。設置をする現場の条件を考慮して位置を決めています。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
 TEL：078-851-0535

